

ドラムキャリア（油圧式） 取扱説明書

【品番】 DHR-10

この度は、KIKAIYA「ドラムキャリア（油圧式）」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

- * この取扱説明書は、商品の正しい使い方やメンテナンス方法、使用上の注意について記載しております。
- * 本書を最後まで必ずお読みいただき、商品を正しく取り付け、お使いください。
- * 本書が必要になったとき、すぐ利用できるように大切に保管してください。



コバヤシデンソー株式会社

〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂 1415-3

(MAIL) info@kikaiya.com

■はじめに

- 商品が到着しましたら7日以内に開封して中身/動作をご確認ください。
付属品の欠品、破損、初期不良等がございましたらすぐに販売店にご連絡ください。
- 本製品を本来の用途以外には使用しないでください。また、改造はしないでください。
- 改造により故障及び損傷した場合は保証対象外となりますのでご注意ください。
- 調査を依頼される際の送料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

- 本書記載の内容は製品改良のため予告なく変更される場合があります、お届けした製品と本書記載の内容に一部相違がある場合がございます。
- 本書記載の内容に反する取り扱いを行ったことにより生じた損害に関して、弊社または販売店は一切の責任を負いかねますのでご了承ください

■注意事項

- 製品の使い方をよく理解してご使用ください。
- 重大な損傷を負う可能性がありますので、はさみこみや転倒に注意し、常に周囲の安全を確認してください。
- 素手で鋭利な箇所に触ると怪我をする恐れがあります。
- 作業に適した服装(作業服・安全靴・手袋・保護メガネ等)でご使用ください。
- ドラムキャリアはしっかりとした硬い水平な場所に設置してご使用ください。
- 能力以上の荷重をかけないでください。
- ドラム缶をしっかりと掴んで安全が確認できてからドラム缶を移動させてください。
- お子様が手を触れない場所で使用・保管してください。
- 異常が見受けられた場合はすぐに使用を中止してください。

■仕様

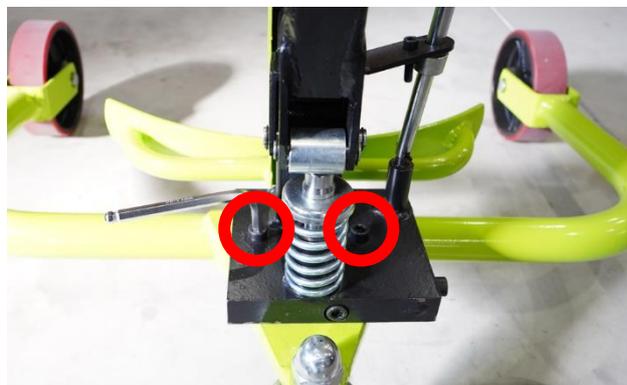
能力	250kg
上昇高さ(ストローク)	約 260mm
幅×奥行×高さ	約 830×810×1030mm(ハンドル含む)
内径サイズ	・車輪から車輪の間:約 680mm ・車輪の中心からドラム当たり面まで:約 375mm
本体重量	38.5kg
適合ドラム	鋼製ドラム缶 200L(クローズタイプ) 空ドラムは軽いので、持ち上げる時は手で軽く押さえて爪をかけてください。 (空ドラムは移動時に振動で外れる事がございますので、ご注意下さい)

■名称



■組立方法

1. フレームについているネジを外します。
2. 油圧シリンダーをフレームにのせ、外したネジを使い固定します。(※六角レンチ 8mmが必要です)
3. 全ての取り付けネジやピンなどの緩みなどが無いか注意深く点検してください。



※シリンダー部は重いので、フレームに置く際に転倒や挟み込みにご注意ください

■取扱方法

ドラムチャックをドラム缶に合わせ、リリースバルブを閉じてハンドルを上下するだけで、スムーズに上昇します

【ドラム缶の上昇】

1. リリースバルブを時計周りに回します。
2. ドラムキャリアを手で押してリフティングフレームをドラム缶にあてます。
3. ハンドルを繰り返し上下させて、ドラム缶の上端のみみにドラムチャックがあたるまで上昇させます。
4. そのまま上昇すると自然にドラムチャックがドラム缶を掴みます。



5. ドラム缶をしっかりと掴んで安全が確認できてからハンドルを上下し、ドラム缶を適当な高さまで上昇させます。

【移動】

1. ドラム缶を上昇させた状態でハンドルを押してドラムキャリアを移動させます。
2. 移動させる時はドラム缶から少し離れて押します。

注意:ドラム缶は必要以上に高く上昇させないでください。

【ドラム缶の下降】

1. ドラム缶を下げる時はリリースバルブをゆっくりと反時計周りに回します。
注意:リリースバルブはいききに緩めないでください。
2. ドラム缶をゆっくりと下降させ、安全ロックのノブを前に倒して外し、ドラム缶を離します。

■メンテナンス

- 定期的に前車輪やキャスターに異常、取り付けネジなどに緩み、パッキンを点検してください。
- オイルが不足した時はオイルを交換または補充してください。(使用オイルは下記表を参照)
- ドラム缶を掴む爪に異常がないか点検してください。異常がある場合はすぐに使用を中止してください。
- 全ての取り付けネジやピンなどの緩みなどが無いか注意深く点検してください。

■作動油の注入方法



④ プラスネジをはずす

⑤ ネジ穴から作動油を注入する

※作動油がどの程度減っているか目視できないため
注入量を調節し難しくなっておりますが
作動油があふれても問題はありません

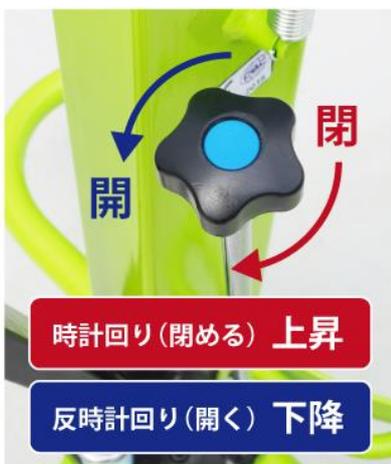
作動油の種類

ISO VG32

完了したら逆の手順で元に戻してください

■エア抜きの方法

輸送後や修理後・作動油が不足した時はシリンダーにエアが噛む事があります。
エア噛みをする则ち動きが遅くなる、ジャッキが上昇しない・自然降下するなどの症状が出ます。
その場合は下記要領で「エア抜き」を行ってください。(必ず無負荷状態で行ってください。)



① レリーズバルブを開いた状態で
ハンドルを上下に5~10回ポンピングする

② バルブを閉めてポンピングする

上手く作動しなければ

①と②を何度か
繰り返してください



フレームがオレンジの場合

※2023年10月31日以前にご購入※

■仕様

能力	350kg
上昇高さ(ストローク)	約 250mm
幅×奥行×高さ	約 790×810×1120mm(ハンドル含む)
内径サイズ	・車輪から車輪の間:約 635mm ・車輪の中心からドラム当たり面まで:約 330mm
本体重量	38kg
適合ドラム	鋼製ドラム缶 200L(クローズタイプ) 空ドラムは軽いので、持ち上げる時は手で軽く押さえて爪をかけてください。 (空ドラムは移動時に振動で外れる事がございますので、ご注意ください)

■取扱方法

ドラムチャックをドラム缶に合わせ、油圧ジャッキレバーを軽く操作するだけで、スムーズに上昇します

【ドラム缶の上昇】

1. ドラム缶にキャリアをそわせ、油圧ジャッキレバーで上昇させていくと自動的にドラムチャックがドラム缶のフチ(内側)にかかります。
2. ドラムチャックがフチにかかったのを確認し、安全ロックをかけ、さらに油圧ジャッキレバーで上昇させます。

※しっかりとドラム缶がかかっているのを確認して下さい。



【移動】

1. 移動させる際はハンドルレバーをニュートラルに合わせ、油圧ジャッキレバーを持ち、移動させます。
(ハンドルレバーを手前に引くとニュートラルになります)



【ドラム缶の下降】

ハンドルレバーを引き上げるだけで降下します。ドラム缶をゆっくりと下降させて下さい